



日本仏教看護・ビハーラ学会第19回年次大会開催のお知らせ

ご挨拶

2020年2月3日、横浜港で行われたダイヤモンドプリンセス号の検疫で新型コロナウイルスの集団感染が報告されてからもうすぐ3年が経とうとしています。

分断と喪失への恐れによる得体のしれない不安感が社会全体を覆い尽くそうとする中、当学会は、若麻績敏隆前会長のもと、「ありがとの花束」と命名した、さまざまなかたちでのちへのエールを発信し続けました。リモートにて開催した2021年の年次大会では中村桂子氏により、悠久の時の流れの中で縁がつむぎだす生命の多様性と愛おしさが謳われました。2022年度には念願の東北での年次大会が開催され、谷山洋三大会長が、大震災の中で宗教者が体裁も何もかもかなぐり捨ててホームから公共の場に飛び出し利他行を行う、はじまりの地点から現在までの展開を眼前に示してくださいました。

そして、2023年6月10日(土)、11日(日)の両日、第19回年次大会が新潟の地で開催されます。この三年間のたまりにたまった熱を一気に大解放せんとする今村達弥大会長による極めて高温(取り扱い注意)の大会趣意書をこのあとにご紹介します。まずはご一読ください。

身を捨てて他を利する、その言葉通りに生命を燃やし尽くし旅立っていった太田宏人氏、長純一氏、この二人の同志の活動をパネル展示にてご紹介します。お二人の活躍に思いを馳せるとともに、彼らの思いが受け継がれていく様子を二つのシンポジウムで目の当たりにします。

上田紀行氏は基調講演で、鎌田東二氏は法螺貝と歌で大会を盛り上げてくださいます。夜は、音楽と密教で時間を忘れて語り明かしましょう。

年間を通じて当学会の教育研修委員会が学会員向けにリモート開催してくださっている仏教看護勉強会より、ソーシャルワークと仏教看護の研究と教育に関わりながら、認知症ケアの最前線でご活躍し、タイの寺院では自ら仏教ケアを実践されているホン・グエン氏による「仏教看護」と「ケアラーへのケア」についての講演とワークを終日視聴できるコーナーを設けます。仏教看護とはなにか。学び直し、学び初めに最適の機会と思います。

会場の大栄寺様は、北越の古禅林として数多くの禅僧が修行に励んだ大道場です。長岡西病院ビハーラ病棟開棟の際にもご尽力を頂いた五十嵐紀典住職の特別のご厚意にて、本堂、大広間のみならず、禅道場まで年次大会開催のためにお貸しいただけます。隣接する北方文化博物館は全国屈指の豪農であった伊藤家の邸宅をそのまま流用しており、贅を尽くした日本庭園では神秘的な美しさをたたえる古代蓮が、みなさまをお待ちしています。

どうぞお誘いあわせの上ご参加ください。

(本年度も、対面とリモートのハイブリッドでの開催とさせていただきます。)

日本仏教看護・ビハーラ学会
会長 今井 洋介 拝

日本仏教看護・ビハーラ学会 第19回 年次大会

日 程 令和5(2023)年6月10日(土)13時00分~6月11日(日)15時00分まで
会 場 曹洞宗 隆明山 大栄寺 (〒950-0205 新潟市江南区沢海3丁目3-18)
問合せ先 日本仏教看護・ビハーラ学会 第19回年次大会実行委員会事務局
〒956-0854 新潟市秋葉区滝谷町4-20 ささえ愛よろずクリニック内
E-mail: vihara2023@gmail.com

大会プログラム

テーマ『いのちのインクルージョン～対話の力を信じて～』

日本仏教看護・ビハーラ学会第 19 回年次大会
大会長 今村 達弥

今大会は、13 年ぶりの新潟県開催です。前回開催では「縁のちから」がテーマでした。今回は対話の力です。コロナ禍とロシアのウクライナ侵略戦争という、いのちが生気を失いかけている今こそ、このマスク社会の閉塞から抜け出すために、弾薬よりも対話という処方が必要です。いのちの選別・分断によるサバイバルはまやかしです。あらゆるいのちがインクルージョンされ、生老病死がイキイキとした過程でありうるような関係性を築いていきたいものです。

僧侶も医療者も対人援助職と言えますが、その「当たり前」の手段である対話（ダイアログ）についてこの際再考してみたいと思います。人に法話や療養を説くときそれがモノログになっていないでしょうか？伝達の技術や技法に走るより、聴くことと話すことを相互に交換し合うシンプルともいえる行為に立ち返ることが、むしろ新たな気づきを援助現場にもたらすかもしれません。対話の対は‘つい’であり関係性の始まり（対になる）をあらわします。それが 2 人称の関係性、看護・介護現場で言うと 2 人称ケアであると理想的です。同行二人ともいうように、ケアされる側からすると 2 人称関係が一つでもあればきっと安心であろうからです。しかし、現場側の論理ではとかく効率が求められがちです。超極端に言えば、2 人称で世界は救えるのか、といった身も蓋もない議論もあるでしょう。ところが実は、その複雑性を謳う社会が案外そう隔たったものではないとする理論（スモールワールド理論）があり、「自分とは全く縁もゆかりもないと思っっているような他人であっても、たいてい 6 人くらい友人を辿っていけば、その人に到達できる」というのです。2 人称の数珠つなぎでケアの輪は世界を包み変えるかもしれません。これは一つの夢でしょうか。でもジョン・レノンではありませんが、きっとみんな夢見ればそれが現実になるのでしょうか。

地域包括ケアシステムのいわゆる共助・互助の活動として各地で僧侶の取り組みが報告されるようになってきました。地域包括ケアの有名な概念図は、ビジーでつかみどころがないため「霞が関マンダラ」と揶揄されることがあるそうですが、その中に仏教的資源は臨床宗教師はおろか一切書き込まれていません。看仏連携からいわゆる「寺子屋」活動までいろんなレベルの実践を今後もどんどん発信して行って、地域から求められる社会資源として認知されていくことが望まれます。

ここで 2 人の故人となられた当学会員のいのちを偲びたいと思います。東日本大震災被災地の石巻で地域包括ケアシステム構築に命懸けで取り組んだ長純一医師（1966～2022）。当学会設立時から仏教ライターとして関り、東日本大震災被災地支援を経て臨床宗教師となった太田宏人師（1970～2018）。2 人のいのちを継承するためには、「あらゆる障害に対応した地域包括（インクルージョン）ケアシステム」を実現させること、そこには当然、仏教的資源が盛り込まれていること、向かうべき方向は示されています。

今大会では、スピリチュアルケアに携わる各団体や、僧侶と医療者の協働を切り拓く「寺子屋」などの実践者ができるだけ一堂に会し、お互いの活動とノウハウを共有し合うべく、2 つのシンポジウムを企画いたしました。

一つは、まさに上記の真の地域包括ケアシステムのために活動せんとする第一線の実践家に集まっています。題して『コミュニティの人柱とならん～開拓する地域包括ケア～』（シンポジウム 2）。アフガニスタンに散った故中村哲医師が、砂漠の荒地を農地と変えるべく、激流の外来河川に斜めに抗する堰を埋め作ったその活動をイメージしたタイトルです。

もう一つは『社会にアウトリーチする仏教』（シンポジウム 1）と題して、‘山を下り野に放たれた’仏教者の実践を披露していただきます。誰も行きたがらない所、自分が歓迎されない所に行くのが出家者の真骨頂でしょう。寺を出て、刑務所やドヤ街、病院や被災地、紛争地へ越境する活動が、衆生の囚われや恐怖心、穢れの意識を変えていくのではないのでしょうか。今は葬式仏教と揶揄されるものも始まりはそういった活動の一つだったかもしれません。

基調講演は、文化人類学者で東京工業大学副学長である上田紀行さんをお願いいたしました。上田さんはかつてダライ・ラマ法王との対話を果たされ、「この現代に仏教を活きたものとすべく」まさに仏教ルネッサンスのために著作と活動をなさってこられました。また、リベラルアーツという学際的な教育

にも携わってこられた上田さんですので、次世代の地域づくりにとって僧侶が魅力ある存在となりうるのか刺激的なご提言がいただけるものと期待します。

ダライ・ラマは、空＝縁起の悟りを得た菩薩でありながら慈悲行のために現世に何度も出張なさっておられる方です。「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」と喝破した宮沢賢治も、誤解を恐れずに言うならば私にとっては同じ系譜に位置づけられる方です。大会長講演は不肖私が、『地域精神医療のロマンとリアル～宮沢賢治に導かれて～』と題して行わせていただきます。フィンランド発祥の対話実践オープンダイアログについても少し報告させていただきます。

対話をテーマにした今大会では、当学会名物であった夜のサンガ＝「ラートリカサンガ」を復活開催いたします。体力の続く範囲で各自が想いを語り（歌い）合う場を設けました。会場の大栄寺は曹洞宗の修行寺として大人数の宿泊が可能なスペックを擁します。ご住職のご厚意で、座禅部屋で静かに泊りになりたい方も朝まで飲み語りた方も幅広いニーズにお応えできます。みなさん、諸々、乞うご期待、奮ってご参加いただきたく存じます。

主催：日本仏教看護・ビハーラ学会年第19回年次大会実行委員会

共催：曹洞宗 隆明山 大栄寺（〒950-0205 新潟市江南区沢海3丁目3-18）

6月10日(土) 大会1日目

(エクスカーション①北方文化博物館 ②ささえ愛よろずクリニック見学)

10:00	エクスカーション① 集合	新潟駅 (北方文化博物館へ)
	エクスカーション② 集合	新潟駅 (ささえ愛よろずクリニックへ・昼食付)
11:30	エクスカーション① 解散	北方文化博物館正門
	昼食は各自館内のみそ蔵でお取りください	(席のみ予約)
12:30	エクスカーション② 解散	大栄寺
12:30	受付開始	大栄寺 受付
12:50	法話	五十嵐 紀典 (大栄寺住職)
13:00	開会式	大栄寺 会場①②
	挨拶 今井 洋介 会長	(新潟県立がんセンター新潟病院)
13:05~13:50	大会長講演	同上
	「地域精神医療のロマンとリアル～宮沢賢治に導かれて～」	
	演者 今村 達弥 大会長 (ささえ愛よろずクリニック院長)	
13:50~14:00	休憩	
14:00~15:00	基調講演	同上
	「(仮題)がんばれ仏教！」	
	演者 上田 紀行 (東京工業大学副学長)	
15:05~16:30	シンポジウム1	同上
	「社会にアウトリーチする仏教」	
	シンポジスト：伊藤 竜信	(浄土宗西蓮寺住職・臨床仏教師・米沢わけんの会代表)
	シンポジスト：堀 眞哲	(浄土宗真福寺 住職・Terra Net 代表)
	シンポジスト：西岡 秀爾	(曹洞宗崇禅寺 住職・東方学院 講師)
	シンポジスト：玉置 妙憂	(非営利一般社団法人大慈学苑)
	座長：谷山 洋三	(東北大学 教授)
	コメンテーター：上田 紀行	(東京工業大学副学長)
	鎌田 東二	(京都大学名誉教授)
16:30~16:45	休憩	

16:45~17:30	総会 -----	同上
18:00~20:00	懇親会 (バス送迎あり)	割烹 ふじ田
20:30~	ラートリカサンガ -----	大栄寺 会場②
	音楽とミニレク：サクソ演奏；日比野 則彦	
	ミニライブ；鎌田 東二、しじみ	
	松本 峰哲；「夜しか話せないチベット密教」	

*6/10・11の両日ともに、医師 長純一氏と臨床宗教師 太田宏人氏の活動紹介、及び Huong Nguyen 先生の仏教看護に関するパネル展示もあります。

会員総会にご出席ください

大会1日目 6月10日(土) 16:45から、第19回の会員総会を開催します。
会員各位はご都合をつけてご出席くださいますようお願いいたします。
欠席される場合は、委任状の提出をお願いいたします。

6月11日(日) 大会2日目

早朝~	座禅体験 (事前予約のみ) -----	大栄寺 坐禅堂
9:00	受付開始 -----	大栄寺 受付
9:30~12:00	研究発表(口頭発表) -----	大栄寺 会場①②
	座長 (未定)	
12:00~13:00	昼食休憩	大栄寺 会場②
13:00~15:00	シンポジウム2 -----	同上
	「コミュニティの人柱とならん~開拓する地域包括ケア~」	
	シンポジスト：上馬場 和夫 (NPO日本アールヴェーダ協会 理事長)	
	シンポジスト：高瀬 顕功 (浄土宗法源寺 副住職・大正大学社会共生物学部専任講師)	
	シンポジスト：大河内 大博 (浄土宗願生寺 住職)	
	シンポジスト：石川 麗子 (訪問看護ステーション街のイスキア代表理事)	
	座長：郷堀 ヨゼフ (淑徳大学大学院 教授)	
	コメンテーター：鎌田 東二 (京都大学名誉教授)	
15:00	閉会式 -----	同上
	挨拶 今村 達弥 大会長	

会場：曹洞宗 隆明山 大栄寺 〒950-0205 新潟市江南区沢海3丁目3-18
詳細はこちら：<https://daieiji.jimdofree.com/>

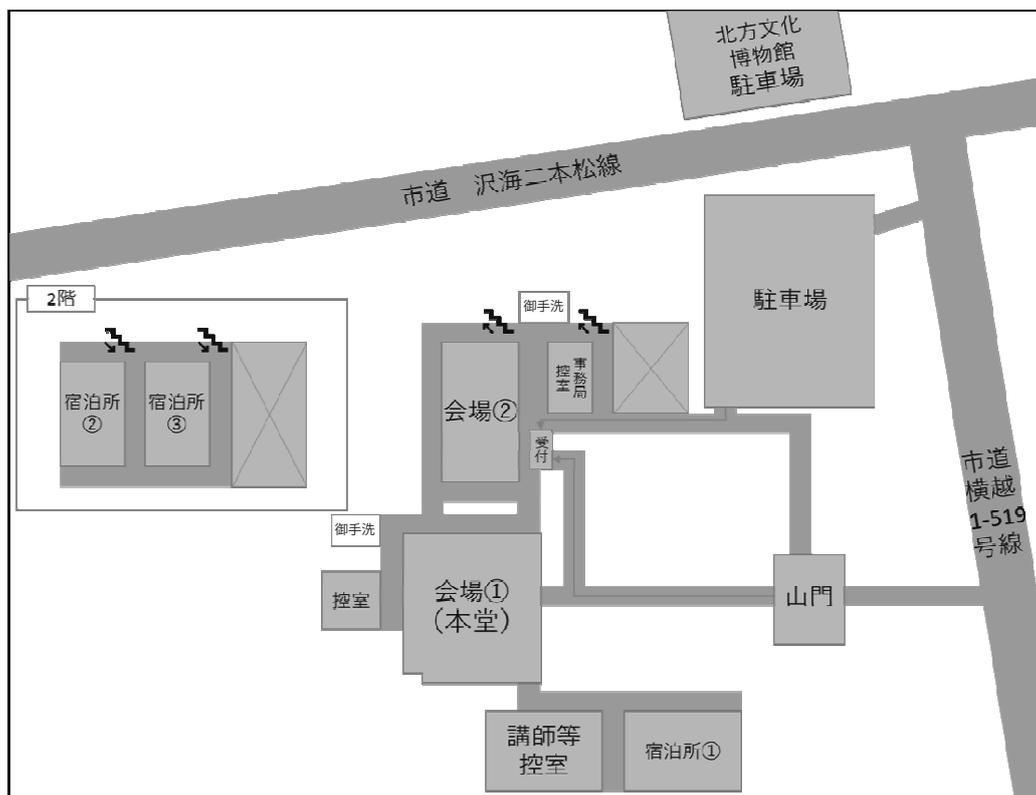
アクセス：○ タクシー：新潟駅南口広場から30分、新津駅から15分
○ バス：万代シティバスセンター発 沢海経由秋葉区役所行き
上沢海博物館前下車 徒歩2分 運行本数が少ないため事前にご確認ください。
新潟交通お問い合わせ電話(バス路線・時刻) TEL025-246-6333
○ 車：高速道路磐越自動車道新津ICより約4km 約7分
○ 無料送迎：新潟駅 ⇄ 大栄寺の送迎時間は以下のとおりです。
事前にご予約をお願いします。当日受付はできかねますので、ご了承ください。

【6/10 1日目(行き)】

新潟駅発 10:00頃 → 北方文化博物館(エクスカーション①) 12名まで
新潟駅発 10:00頃 → ささえ愛よろずクリニック→大栄寺(エクスカーション②) 6名まで
新潟駅発 11:40頃 → 大栄寺

【6/11 2日目(帰り)】

大栄寺発 16:00 → 新潟駅



研究発表の申し込み

研究発表演題募集要項 募 集 口演発表（5題程度）

発表日 大会2日目 6月11日(日) 9:30~12:00

1) 発表資格

- ① 発表される方は、共同研究者も含めて「日本仏教看護・ビハーラ学会」の個人会員、学生会員、団体・法人会員のいずれかであること（発表申し込み時に、入会申し込みの手続きがあれば可能です）。
- ② 発表される方は、Microsoft Word に対応した形式（.docx / .doc / .rtf）で作成・保存した文書を、大会事務局の E メールアドレス（vihara2023@gmail.com）に添付書類として、所定日までに提出され、発表採否審査委員会において採択された会員。

2) 発表演題（口演）と抄録原稿の提出

- ① 口演発表は、大会2日目 6月11日(日) 9:30~12:00の間を予定しています。1演題につき、15分間の発表、10分間の討論、計25分間を予定しています。なお、演題数に応じて時間や発表形式（ポスター）を変更する場合がありますので、予めご了承ください。
- ② PC、プロジェクター（Windows11 Pro: Microsoft® PowerPoint® for Microsoft 365 MSO）を用意する予定です。
- ③ 当日配付資料がある場合には、事前に100部程度を用意してください。当日のコピーには対応できません。
- ④ 発表申し込みにあたっては、演題名・所属・氏名と発表要旨の全てを40字×40行のA4用紙1枚以内にまとめた抄録原稿と、対面・オンラインの発表形式、PCプロジェクター使用の有無、連絡先住所等を明記して、大会事務局宛て（E-mail: vihara2023@gmail.com）に提出してください。
- ⑤ 抄録原稿は、原則として、目的・方法・結果・結語の順でお書きください。
- ⑥ オンラインでの発表の場合は、配布資料をPDFにして大会前日の6月9日(金) 16:00までに大会事務局宛て（E-mail: vihara2023@gmail.com）にお送りください。

- ・ 発表や抄録原稿作成においては、個人やその家族等のプライバシーの保護に留意し、個人やその家族等が特定されないよう十分な倫理的配慮をお願いします。

3) 申し込み締め切り 令和5(2023)年3月10日(金) 16:00 必着

4) 申し込み先

日本仏教看護・ビハーラ学会 第19回年次大会実行委員会事務局

【Eメール】vihara2023@gmail.com

件名に【日本仏教看護・ビハーラ学会 演題申し込み（お名前）】と明記してください。

5) 発表の採否とプログラム・予稿集への掲載

- ① 発表の内容が本学会の趣旨にそぐわない場合には、発表をご遠慮いただく場合があります。採否については、発表採否審査委員会（大会実行委員会、倫理委員会、編集委員会の代表）によって構成される会議において決定いたします。採択結果は4月上旬までにお知らせいたします。
- ② 発表演題が採択された場合には、申し込みの際に提出された抄録原稿を、原則そのまま『日本仏教看護・ビハーラ学会第19回年次大会プログラム・予稿集』に掲載いたします。誤字・脱字がないよう十分にご確認ください。

大会参加の申し込み方法

【大会の参加方法と参加費】

1) 参加方法

- ・ 大会の参加方法は、対面とオンラインです。対面参加は 80 名限定とします。
- ・ エクスカーションへの参加人数の制限はありませんが、新潟駅からの送迎車ご希望の方は、
① 北方文化博物館 12 名、② ささえ愛よろずクリニック 6 名限定とします。

2) 大会参加費

正会員・支援会員	対面	6,000 円	オンライン	4,000 円
非会員	対面	7,000 円	オンライン	5,000 円
学生会員	対面	3,000 円	オンライン	2,000 円
学生非会員	対面	3,500 円	オンライン	2,500 円

- ・ 学生の方は、受付時に学生証の提示をお願いいたします。なお、大学院生は学生に含みません。

3) エクスカーション 6月10日(土) 10:00～

エクスカーション ① 北方文化博物館 10:00～11:30

エクスカーション参加費： 550 円（対面参加での事前登録のみ、12 名まで送迎あり）

北方文化博物館（大栄寺隣り）を訪問します。越後の大地伊藤家の旧大邸宅であった北方文化博物館は、現存する新潟の豪農の屋敷の中でも最大規模を誇り、広大な 8,800 坪の敷地には 65 の部屋を設けた主屋、大広間、茶室、蔵といった建物をはじめ、庭園から歴代当主による美術品のコレクションにいたるまで、新潟の伝統と芸術を鑑賞できる豪農の館です。百畳敷きの大広間から庭園を眺め、日本の美に満ちた心豊かなひと時をお過ごしください。

昼食は館内の「食事処 みそ蔵」で新潟の味をお楽しみください。

（席のみ予約済・各自清算をお願いします） <https://hoppou-bunka.com/facility/>



エクスカーション ② ささえ愛よろずクリニック 10:00～12:30

エクスカーション参加費：500 円（昼食付き・対面参加での事前登録のみ、6 名まで送迎あり）

ささえ愛よろずクリニック（大栄寺から車で 20 分）を見学します。多機能型精神科診療所を中核に医療と福祉の総合ケアタウンを形成。精神障害者と高齢障害者の双方に対するケア制度、ケアノウハウを相互に活用し、地域の全障害、全世代を対象に、通い・訪問・泊り・住いのケアの提供を行っています。ささえ愛よろずクリニックは、精神科としては新潟県唯一の在宅療養支援診療所でもあります。 <http://www.yorozu-caretown.com/>

4) 懇親会費 6 月 10 日（土）18:00～20:00

割烹 ふじ田 （新潟市江南区沢海 3 丁目 13-11 025-385-3733）

正会員・支援会員・非会員 5,000 円（税込）

学生会員・学生非会員 2,500 円（税込）

5) ラートリカサンガ 6 月 10 日（土）20:30～ 大栄寺

懇親会后、大栄寺の一室でラートリカサンガを復活します。「ラートリカサンガ」とは、「夜を徹し、みなが自由に意見を述べる事ができる共同体」を意味しています。様々な職種、世代、立場を超えて参加者が集う「語らいの場」です。各自の体力に応じて自由に出入りできます。テーマについて語らうもよし、これまでの講演やシンポジウムに関して議論するもよしです。いのちが生気を失いかけている今、大いに対話しようではありませんか！

また、スペシャルゲストとして、日比野則彦さんのサクソ演奏、鎌田東二さん、しじみさんのライブと松本峰哲さん「夜しか話せないチベット密教」のお話を予定しています。奮ってご参加ください

参加費：カンパ歓迎（学生は無料）

6) 昼食

- ・ 6 月 11 日（日）のみ、お弁当の予約を受け付けます。代金は、1,000 円（お茶付き）です。周辺に食事をとれる施設はございませんので、事前の準備をお勧めします。
- ・ 6 月 10 日（土）のエクスカーション①ご参加の方は、北方文化博物館「食事処 みそ蔵」をご利用ください。（席のみ予約してありますので、各自ご精算ください）
- ・ 6 月 10 日（土）のエクスカーション②ご参加の方はささえ愛よろずクリニックで昼食をおとりください（昼食代は参加費 500 円に含まれています）

7) 宿泊

- ・ 大栄寺 宿泊費：3,000 円
（40 名のみ、朝食のおかゆつき、大浴場完備：タオルをご持参ください）
- ・ 北方文化博物館内 大呂菴 宿泊費：11,000 円（個室ではありません）
（朝食付き・女性限定 12 名のみ） <https://hoppou-bunka.com/facility/>

※大呂菴の門限は 24 時です、事前に荷物を預ける場合は北方文化博物館の受付へお願いいたします。ラートリカサンガにご参加の方は門限にご注意ください。

- ・ 他の宿泊は各自で手配をお願いします。

【申し込み方法】

- 1) 年次大会の参加申し込みは、Google フォームで事前登録した上で、郵便振替口座への振込み、またはPaypal 決済をお願いします。
- ・ 参加を希望する場合は、下記の URL、QR コードから Google フォームにて必ず申し込みをお願いします。

対面参加用 QR コード ↓



オンライン参加用 QR コード ↓



URL : <https://forms.gle/M1fzJ9gvhyz3zFEUA> URL : <https://forms.gle/5hkRLcNLUWdYDfCC6>

- ・ 会員の皆様には、本ニューズレターに大会参加申し込み専用の郵便振替用紙（青：払込取扱票）を同封しています。通信欄の参加希望される事項について、「○印」をご記入の上、必要経費とともに申し込み下さい。（振り込み手数料は各自ご負担ください。）Paypal での決済もご利用いただけます。
- ・ 郵便振替口座への振込み、またはPayPal 決済をもって、申し込み完了となります。
- ・ 郵便振替用紙を使わずに振込をされる場合は、以下の口座に振込んでください。

<ゆうちょ銀行からの振り込みの場合>

記号番号 00980 - 4 - 196310

口座名 日本仏教看護・ビハーラ学会大会実行委員会

<ゆうちょ銀行以外からの振り込みの場合>

銀行名 ゆうちょ銀行

支店名 ○九九店（ゼロキユウキユウ店）：(店番 099)

預金種目 当座

口座番号 0196310

※（年会費の振込口座とは異なりますので、ご注意ください。）

- ・ PayPal 支払い QR コード ↓



支払い先を検索する場合は @vihara2023 をお願いします。

- ・ 決済された大会参加費・懇親会費・弁当代・エクスカージョン参加費・宿泊費は、ご自身の都合によるキャンセル及び変更等による返金はできませんので、あらかじめご了承下さい。

2) 参加申込(振込)締め切り

対面参加・エクスカージョン参加 令和5(2023)年5月12日(金)
オンライン参加 令和5(2023)年5月31日(水)

- ・ 上記の期日までに、郵便振替口座への振込み、またはPaypalでの決済をお願いいたします。それ以降は、申し込みを受け付けません。
- ・ オンラインサイトのURLは、参加申し込み、振込を完了した方に、大会前日までにメールでお知らせします。
- ・ 学会当日に発熱や咳などの体調不良がある方は、対面でのご参加はご遠慮ください。対面からオンラインに切り替えることができますので、ご希望の方は事務局までメールでご連絡ください。ただし、差額は返金できませんので予めご了承ください。対面でのご参加の方は、感染防止対策にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

日本仏教看護・ピハラー学会 第19回 年次大会 実行委員

大会長:今村 達弥 (ささえ愛よろずクリニック) 実行委員:金谷光子 (下越いのちとこころの支援センター)
副会長:五十嵐紀子 (新潟医療福祉大学) 杉本 洋 (新潟医療福祉大学)
事務局長:長井知子 (フェニックス調剤薬局) 松井由美子 (新潟医療福祉大学)
事務局:長谷川拓 (あいので新潟店) 西川 薫 (群馬パース大学)
中村あづさ (にいがた統合医療研究会) 大久保明子 (新潟県立看護大学)
大木 優 (社会福祉法人長岡福祉協会) 徐 淑子 (新潟県立看護大学)
村上成文 (フェニックス調剤薬局) 樺澤賢正 (龍蔵寺・長岡西病院)
大高正嗣 (デザイナー) 東越拓也 (医療法人崇徳会長岡西病院)
会計:熊倉眞之助 (ささえ愛よろずクリニック)

事務局だより

- 本学会では、新規会員の方をお待ちしています。会員におかれましては、お知り合いに本学会の存在をお知らせいただき、入会をお誘いいたしますようお願いいたします。
- やむを得ず本学会から退会をご希望の方は、) E-mail、FAX、または葉書にて、本部事務局までご連絡ください。特に書式はございません。
- 住所・勤務先・職位などに変更のある方、学生会員で個人会員への移行の方は、お名前・会員番号を明記の上、E-mail、FAX、または葉書にて、本部事務局宛にご連絡ください。

会員著作紹介について

本会の学会誌「仏教看護・ビハーラ」に紹介する「会員著作」を募集いたします。
2021～2022年に出版された著作がある会員の方は、是非、学会事務局までご一報ください。
どうぞよろしくお願いたします。

【入会・退会の連絡先・お問い合わせ先】

日本仏教看護・ビハーラ学会 事務局 E-mail : vihara.office@gmail.com

日本仏教看護・ビハーラ学会 令和4年度～7年度 理事・役員名簿

会長：今井 洋介（新潟県立がんセンター）

理事：谷山 洋三（東北大学） ※学会誌編集担当/編集委員長
若麻績 敏隆（善光寺白蓮坊） ※広報担当/広報委員長
伊藤 奈津子（淑徳大学） ※研究推進担当/研究委員長
熊澤 利和（高崎経済大学） ※倫理審査担当/倫理審査委員長
藤谷 章恵（団体会員代表：淑徳大学看護栄養学部） ※教育担当/教育・研修委員長
郷堀 ヨゼフ（淑徳大学） ※庶務担当/事務局長
今村 達弥（ささえ愛よろずクリニック）
奥井 一幾（神戸松蔭女子学院大学）
野田 隆生（華頂短期大学）
大河内 大博（願生寺/佛教大学）
吉田 厚子（さっとさんが願生寺 訪問看護ステーション）
中島 小乃美（佛教大学）
大久保 明子（新潟県立看護大学）
小柴 千鶴（さんむ医療センター）
吉水 岳彦（光照院/大正大学）
樺澤 賢正（支援会員代表：龍蔵寺/長岡西病院ビハーラ病棟）

監事：森田 敬史（龍谷大学）、佐藤 雅彦（浄心寺/大正大学）

名誉会長：田宮 仁（前 淑徳大学大学総合福祉学部・大学院総合福祉研究科 教授）
藤腹 明子（淑徳大学看護学部 客員教授）

学会設立顧問：大井 玄（東京大学 名誉教授）
鷹司 誓玉（善光寺大本願 法主）
故 水谷 幸正（佛教大学 元学長）

※順序不同

日本仏教看護・ビハーラ学会事務局
〒260-8701 千葉県千葉市中央区大巖寺町200
淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所 郷堀研究室内
TEL. 043-265-9879 FAX. 050-3153-3647
E-mail : vihara.office@gmail.com <https://www.jabnvs.org/>